

アーギュレクチャー

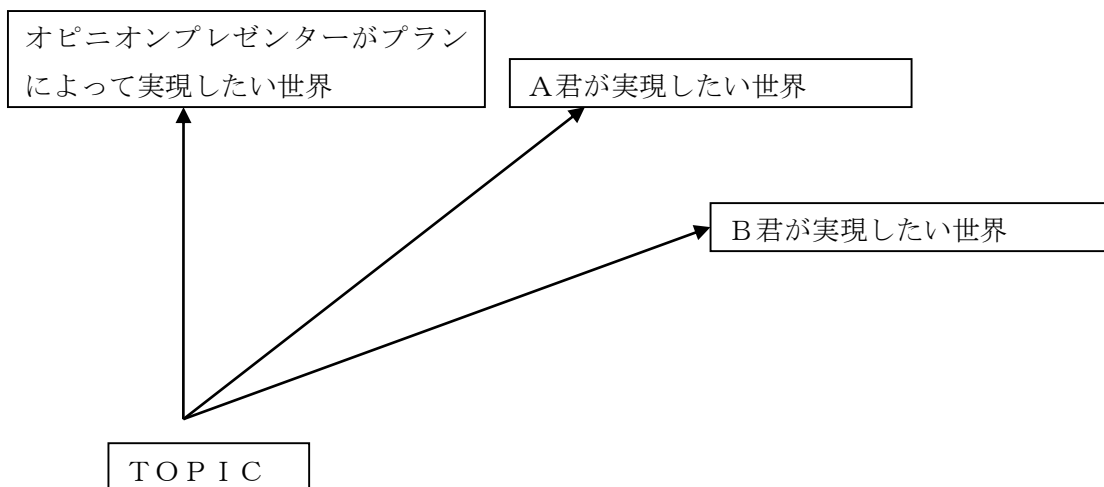
どーも、神戸大学のIBです。

まあアーギュレクチャーを頼まれたわけですが、あくまで僕の一考えとして捉えていただけるとありがたいです。前振り長いのは嫌いなので早速レクチャー入ります。

アーギュメントってなんのために出してますか？

『TOPICに対して自分が実現したい世界を実現するため』だと僕は考えてます。
分かりづらいんでイメージにすると、こんな感じです。

<アーギュメント イメージ図>



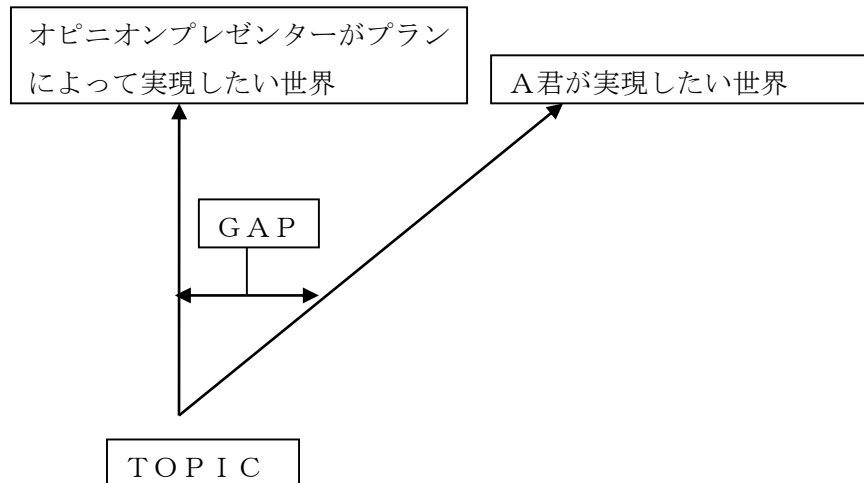
この図だと、A君とB君がアーギュメンターですね。
すごい抽象論だけどイメージできたでしょうか。
ここまでで分かることとしては、

アーギュメントを作る第一ステップは
『TOPICに対して自分が実現したい世界を考える』

ってことです。

さて、先ほどの話に戻すと、こんな人が3人(OP, A君, B君)みたいな自己主張が激しい人が3人いるだけになってしまいます
ですので、相手とのGAPに注目します。

<GAPイメージ図>



このGAPを埋めてこそアーギュメントは成立します。

具体的にこのGAPを埋めるためにどうするか??

オピニオンプレゼンターはA君が実現したい世界ではなく、自分の世界を選んだ理由があるはずです。

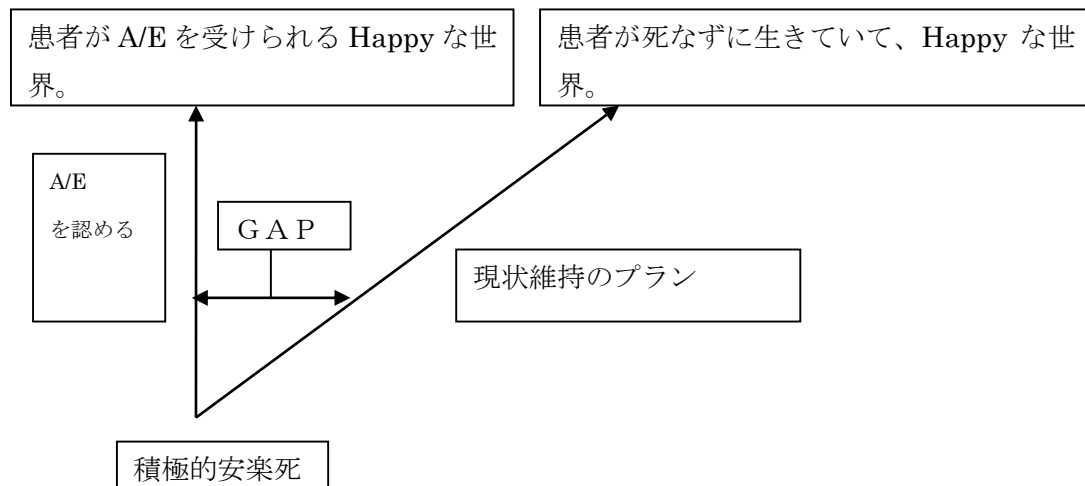
A君（アーギュメンター）はオピニオンプレゼンターの実現したい世界でなく、A君の世界を選んだ理由があるはずです。

それを Solution cut、DA、Spike Plan、ADA などを出し、自分の世界の方がよりよいことを説得します。

さて、ここまで抽象的な話をしてきましたが、わかりやすいように具体的な話をしましょう

積極的安楽死（A/E）を例にとります。

<積極的安楽死に関する二つの異なった世界>



『A/E 受けたい』と思っている面と、『A/E がないおかげで生きている』と思っている面の二つの価値観があります。

二つの価値観には当然、G A P があります。

A 君がオピメ君を説得して新しくプランを取るためには、このギャップを埋めなければなりません。

オピメ君が『患者が A/E を受けられる Happy な世界。』がいいと思ったのには訳があるはずです。それを考えます。

オピメ君の価値観は「耐え切れないほどの病気の痛み」に苦しみ続ける精神的苦痛」があるからだという理由で形成されることが思いついたとします。

オピメ君がそれを出すためには、オピニオンプレゼンターになって A D を導き、現状を変えるためのプランを提示するのがよいでしょう。

一方、A 君の価値観は「生きていれば何かしらイイことがある」というところから来てると思います

A 君がこの自分にとっての best policy を貫き、オピメ君のプランを阻止するためには、患者の Death を D A として提示することがよいでしょう。

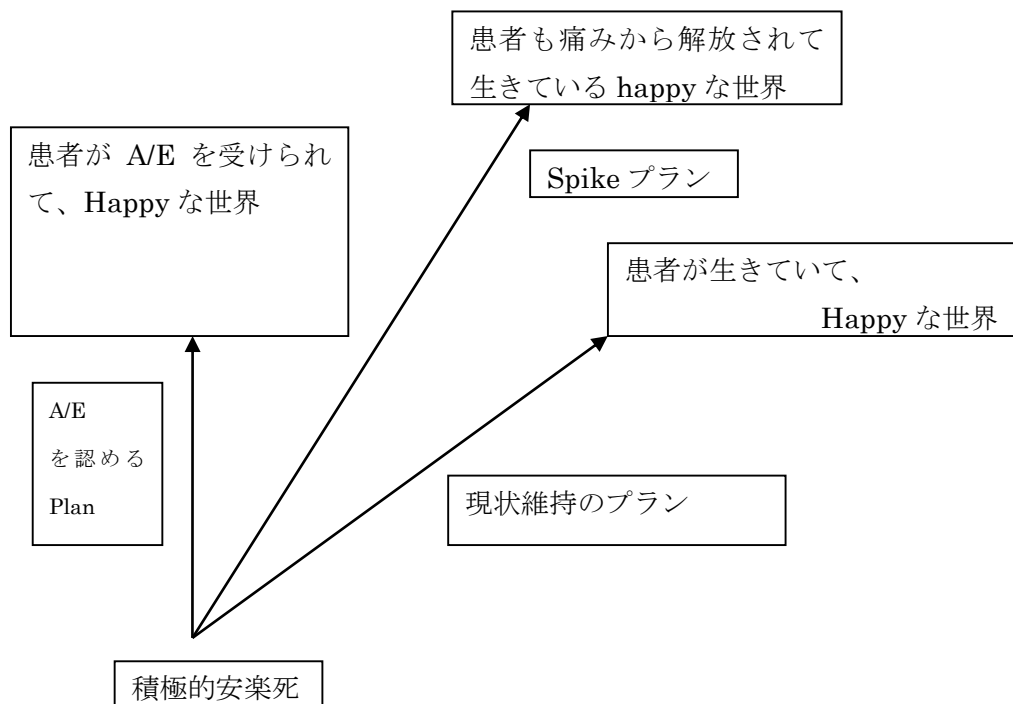
さて、この二つの best policy のぶつかり合いがコンパリな訳ですが、お互いの最も大切なところを見極めて妥協案を提示する、というのも一つの方法ではないかと思います。

おそらくオピメ君にとっては「耐え切れないほどの痛みから解放させるべき」という部分が大切な部分でしょう。

おそらくA君にとっては「どんなことがあっても死ぬという選択肢は与えるべきでない」というのが大切な部分になるでしょう。ならば、この「痛みの解放」と「死なない」という二つの思いが両方満たされるのはどういったプランでしょう??

そう、Spike plan ですね。イメージ図はこんな感じです。

<Spike Plan のイメージ図>



思いつきそうな Spike Plan の内容としては、

- ① Sedation の推奨
 - ② 疼痛治療の導入
- ですかね。

このようにして、spike プランを方向づけし、タイトルに応えることもいいと思います。

おそらくのやり方も人にとって異なってくるでしょうから、その価値観を埋めていく作業も非常に重要になってくると思います。

このように、トピックに対して価値観を持つこと、そしてそれを達成するための best plan をテーブル全員が持つこと、そしてみんなが満足するような全員にとっての best plan を作り上げることが必要になってくると思います。

最近は論理ゲーみたいなアーギュが多くなっているように思います。それが悪だとは言いませんが、それより各々がしっかり世界観を持って、本心から Best policy であると言える建設的なディスができる方がイイと僕は思っています。

そのためには自分の世界観を伝えるプレゼンやロジック、相手の世界観を汲み取るトリート、折衷案に持ち込むプロシーディングなどが必要になります。

だからこそ『アーギュメントができる人＝何でもできる人』と言われていると思います。

2015 年度神戸大学ディスセクチーフ

高橋 研 (IB)

LINE ID : gn_112339